

## 『21 世紀文明シンポジウム「減災」-東日本大震災から 5 年-』を開催しました(2016/1/22)

テーマ：東日本大震災、減災、大規模災害への備え  
会場：東北大学 川内萩ホール（仙台市青葉区川内）

1月22日（金）、東北大学 川内萩ホールにおいて、『21 世紀文明シンポジウム「減災」-東日本大震災から 5 年-』と題したイベントを開催しました（主催：朝日新聞社・河北新報社・災害科学国際研究所・（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構、後援：内閣府政策統括官（防災担当）・復興庁・消防庁・岩手県・宮城県・福島県・仙台市・兵庫県・関西広域連合）。このイベントは、2015 年の阪神・淡路大震災 20 年に続き、2016 年が東日本大震災から 5 年の節目であることから、東日本大震災の被災地における事前防災の状況や今後の取り組みを紹介するとともに、集中復興期間の 5 年間を終える震災復興の現状や課題を徹底検証することを目的に開催されました。本イベントは、第一部：防災減災「震災 5 年の誓い／犠牲を繰り返さないために」と第二部：復興検証「東日本大震災に学ぶ巨大災害への備え」の二部構成で行われました。

第一部では、当研究所 所長の今村文彦教授（災害リスク研究部門）が「東日本大震災前の取り組みと現在」と題して基調講演を行い、御厨 貴教授（東京大学名誉教授）をコーディネーターに、佐藤健一氏（元気仙沼市総務部危機管理監兼危機管理課長）、武田真一氏（河北新報社論説副委員長）、田中 淳教授（東京大学大学院情報学環・総合防災情報研究センター長）を迎えてパネルディスカッションも行われました。第二部では、五百旗頭 真理事長（（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構）による基調講演「東日本大震災復興の状況」と阿部秀保氏（東松島市長）、今井 照教授（福島大学行政政策学類）、坪井ゆづる氏（朝日新聞東北復興取材センター長・仙台総局長）、番匠幸一郎氏（前陸上自衛隊西部方面總監陸将）と御厨 貴教授（前述）によるパネルディスカッションが行われました。

当日は、約 560 名の方々にご来場いただき、一部・二部を通して、復興にあたっての問題点や今後の防災をどのように進めていくかについて、活発な討議と意見・情報交換が行われました。

IRIDeS は今後も、防災・減災に関する研究を、様々な形で社会発信し、将来の防災に役立てるべく、尽力してまいります。（次頁に当日プログラム掲載）



会場の様子



今村所長（基調講演）

# 開催趣旨

2015年の阪神・淡路大震災20年に続き、16年は東日本大震災5年の節目である。大災害の時代を迎えたいま、東北被災地の検証が不可欠である。被災地における事前防災の状況や今後の取り組みを紹介するとともに、集中復興期間の5年間を終える震災復興の現状や課題を徹底検証する。そこから、あるべき減災社会を考え、想定される南海トラフ巨大地震・津波、首都直下型地震などの大災害への備えを、具体的に発信する。

## プログラム

13:00 **主催者挨拶**

西村 陽一（朝日新聞社常務取締役（編集担当））  
一力 雅彦（河北新報社代表取締役社長）

**来賓挨拶**

村井 嘉浩（宮城県知事）

### 第1部 防災減災「震災5年の誓い／犠牲を繰り返さないために」

13:15 **基調報告**

今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所所長・東北大学副理事（震災復興推進担当））

13:35 **パネル  
ディスカッション**

コーディネーター

御厨 貴（東京大学名誉教授）

パネリスト

今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所所長・東北大学副理事（震災復興推進担当））

佐藤 健一（元気仙沼市総務部危機管理監兼危機管理課長）

武田 真一（河北新報社論説副委員長）

田中 淳（東京大学大学院情報学環教授・総合防災情報研究センター長）

**休憩** 14:45～14:55

### 第2部 復興検証「東日本大震災に学ぶ巨大災害への備え」

14:55 **基調報告**

五百旗頭 真（公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長）

15:15 **パネル  
ディスカッション**

コーディネーター

御厨 貴（東京大学名誉教授）

パネリスト

阿部 秀保（東松島市長）

今井 照（福島大学行政政策学類教授）

坪井 ゆづる（朝日新聞東北復興取材センター長・仙台総局長）

番匠 幸一郎（前陸上自衛隊西部方面總監陸将）

16:35 **総括**

御厨 貴（東京大学名誉教授）